

科目名 Course Name	運動障害と救急法 Clinical Management of Sports Medicine			ナンバリング No.	G3-001		
年次	2 年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	本庄 広大						
連絡方法	C-Learning で対応。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP1 DP2						
授業の概要と 到達目標	<p>スポーツ・介護その他の多様な運動指導の現場において、最低限必要とされる必須な医学的知識を概説する。またスポーツ指導者にとって必要な外傷の応急処置、救急救命処置などの技術習得を目指す。</p> <p>① スポーツ・介護の現場で見逃してはならない症状を把握できるようにする。 ② 救急救命の理論と技術を用いて現場で対応できるようにする。 ③ スポーツの外傷、障害についてその理論を説明でき、予防や対処法を実践できるようにする。 ④ スポーツ外傷の応急処置ができるようにする。</p>						
授業の方法	主に Power Point を用いた講義形式。適宜ディスカッションを行う。						
学習成果	L01						
	L02	① スポーツ・介護・運動指導の現場で自信をもって対処することができる。 ② 救急救命の理論と技術を用いて現場で迅速かつ積極的な行動をとることができる。 ③ スポーツの外傷・障害について適切な予防や対処法を指導することができる。					
	L03						
	L04						
課題に対する フィードバック	講義の途中に問題を出題。模範解答を示して理解を深める。						
教科書/ 参考図書	教科書【健康運動実践指導者養成用テキスト】健康体力づくり事業財団 参考書【スポーツ理学療法学 競技動作と治療アプローチ】Medical view						
履修上の留意点 やルール等	授業では触れなかった疑問を自分で調べ、不明な箇所を担当教員に質問すること。 事前・事後学習の時間は、各 180 分とする。						
担当教員の実務 経験	職種: 医師 職歴: 通算 20 年 医師としての多様な経験を、スポーツ障害の理論的な部分と応急処置、心肺蘇生法などの演習に活かす。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	講義の目的と内容をしっかり理解し積極的に参加している。		20		
レポート/作品					
発表					
小テスト					
試験	全出題項目が理解できている。		80		
その他					
合計			100		

回数		授業計画
1	授業内容	スポーツ医学総論
	事前・事後学習	自身で教科書を読み返し、正しい知識を身につける。
2	授業内容	スポーツ中止の判断: 自覚症状から
	事前・事後学習	自身で教科書を読み返し、正しい知識を身につける。
3	授業内容	スポーツ中止の判断: 他覚症状から
	事前・事後学習	自身で教科書を読み返し、正しい知識を身につける。
4	授業内容	内科的な急性障害
	事前・事後学習	自身で教科書を読み返し、正しい知識を身につける。
5	授業内容	内科的な慢性障害
	事前・事後学習	自身で教科書を読み返し、正しい知識を身につける。
6	授業内容	救急蘇生法の基礎
	事前・事後学習	自身で教科書を読み返し、正しい知識を身につける。
7	授業内容	救急蘇生法の実習
	事前・事後学習	自身で教科書を読み返し、正しい知識を身につける。
8	授業内容	スポーツの現場での救急処置
	事前・事後学習	自身で教科書を読み返し、正しい知識を身につける。
9	授業内容	スポーツ外傷 総論
	事前・事後学習	自身で教科書を読み返し、正しい知識を身につける。
10	授業内容	スポーツ外傷 骨折と脱臼
	事前・事後学習	自身で教科書を読み返し、正しい知識を身につける。
11	授業内容	スポーツ外傷 筋肉系
	事前・事後学習	自身で教科書を読み返し、正しい知識を身につける。
12	授業内容	各種スポーツにおける外傷
	事前・事後学習	自身で教科書を読み返し、正しい知識を身につける。
13	授業内容	スポーツにおけるコンディショニング
	事前・事後学習	自身で教科書を読み返し、正しい知識を身につける。
14	授業内容	スポーツ外傷の応急処置
	事前・事後学習	自身で教科書を読み返し、正しい知識を身につける。
15	授業内容	運動障害と救急法総括
	事前・事後学習	自身で教科書を読み返し、正しい知識を身につける